

第17回 ちゅうでん教育振興助成（平成29年度）

報告書資料 一般 - 36

学校名・団体名	南アルプス市立若草小学校
HPアドレス	http://www.es-wakakusa.m-alps.ed.jp/
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	学校・保護者・地域をつなぐ「若草みまもりたい」

〈活動・研究の意義、目的〉我が若草小学区には組織だった「見守り隊」等はない。全国的には一時ほどの広がりもないようである。課題も指摘されている。「見守り隊」の方々が高齢化し、新たに入る人も少なくなっているようである。そのような中、組織的な拘束はなく、「プチボランティア」として、普段の生活の中で散歩中に子ども達を見守るとか、できる時にちょっとできる見守りボランティアが注目されてきている。そこで、本年度、PTAが主体となり、より多くの地域の目により、子ども達の見守りをしていこうと、「見守りたすき」（若草みまもりたい）を広げる取組を行う。PTA会員の私たちがまず、「若草みまもりたい」（たすき）を付け、「見守り」を行う。さらに、お願いできる地域に住んでいる方に声をかけ協力を頂く。それを若草地域全体に広げていく。その取組そのものが、新住民である本校保護者と地域とをつなげ、地域の絆づくりにもなると考える。

P T A総会で本部役員が取組について広く保護者に訴えた。折しも、その後すぐに学区内で夕方の時間帯、不審者による声掛けの事案が発生し、たすきを希望する保護者に配布する計画だったが、全保護者が意識して子ども達の安全確保をするために、全保護者分のたすきを配布し、見守りへの協力をお願いした。

学校だよりで、また、朝の安全指導で出会った保護者に直接お願いしたり、P T A役員さんが手分けして地域の自治会組織の集会を調べ、役員さんと一緒に事務局（教頭・校長）も参加し、地域の方々にも取組の趣旨を訴え、希望を募ったりしていった。

現在まで420世帯が参加するまでとなってきた。更にこの取組みを他校と情報交換する中で、3つの学校でも「見守りたすき」を付け子ども達を守る活動が、地域を巻き込んで行われるようになってきている。

また、今回の取組を更に発展し、実行力のあるものとするために、来年度に向けて、中学校との連携を進めている。

本校P T Aからの依頼という形で、小中連携した「防犯・防災」の活動を進めている。

2017. 7. 6.

若草小だより

【学校教育目標】 ・かしこい子ども ・美しいものに感謝する子ども
・思いやりのあるやさしい子ども ・たくましく生きぬく子ども
そして、ふるさと若草を愛する子ども。

若草小学校H.P.
QRコード
<https://www.wakakusa-mba.edu.jp/>

「肩かけて 地域あるいて みまもりたい」をキャッチフレーズに。

「若草みまもりたすき」を肩にかけ、若草小学校、そして、P T Aが中心となり地域の方々にもご協力を頂きながら子ども達を見守る取組が新たに始まります。

取組の方向性が評価され、複数の機関から助成を頂き、見守りたすきが届きます。

まずは私たちが、「若草みまもりたい」（たすき）を付け、子ども達の「見守り」を行いたいと思います。さらに、お願いできる地域に住んでいる方に声をかけ、協力を頂けるようにしたいと思います。それを若草地域全体に広げていきたいと思っています。

地域住民の方々からも、子ども達に声をかけたいが、時代状況から不審者のように見られるのではないかと言う不安があるという声を頂きます。そんな中、「若草みまもりたい」（たすき）は、互いに安心の目印にもなります。

加えて、「若草みまもりたい」（たすき）を付けていることで、犯罪等抑止のメッセージを伝えることができるのではないかと考えています。事故や犯罪がない地域づくりを、子どもと関わる私たちの手で進められたらと思います。チラシも作成し、明日各家庭に配布します。

～みまもりたすきをつけてわが子、地域の子を守ろう～

特に決まりごとがあるわけではありません。

決まった時間ではなく、自分が近所に歩いて出かける時や、大の散歩などの時にたすき（若草みまもりたい）を付けてください。子ども達の登校時、下校時に出ることができる場合は、無理のない範囲で散歩等して頂くことが大切です。以下の点で効果的です。

- みまもりたすき（若草みまもりたい）を付けて地域に出ることで・・・
- 多くの目で子どもを見守っているというメッセージが部外者に伝わり犯罪を防ぎます。
- 堂々たすきのため、周囲づけることでたすきを付けている本人の身を守ることにもつながります。
- 子ども達の挨拶運動が進みます。

この取組を保護者はもちろんのこと、地域の方々にも広げていきたいと思ひます。



<学校だよりより>

<他校でも同様の取組がたすきと共に>

(若草中学校生徒会への依頼文)

若草中学校 生徒会長様

平成 30 年 2 月
若草小学校 P T A 事務局

いつも若草小学校の学校行事への参加や児童の安全への配慮、大変にありがとうございます。

さて、若草小学校 P T A では、本年度より、子ども達の交通や防犯上の安全確保のため、P T A が主体となって、地域の方々にも協力いただき、「若草みまもりたい」という名称のたすきを作成し、出来るだけ多くの方々なたすきを肩にかけて頂き、プチボランティアに協力して頂きました。

全国的に地域の高齢者が主体となって結成されていた「子ども見守り隊」というグループも、高齢化が進み、決まった時間に、決まった見守り活動に参加する人も減ってきているのが現状です。そこで、本校では、「出来る人が、出来る時に、出来る行動！」をモットーに、以下の取組をスタートしました。

～見守りたすきをつけてわが子、地域の子、そして、我が身を守ろう～

こんな取組です・・・特に決まりごとがあるわけではありません。

決まった時間ではなく、自分が近所に歩いて出かける時や、犬の散歩などの時にたすき(みまもりたい)を付けてください。子ども達の下校時間、登校時に出ることが出来る場合は、無理のない範囲で散歩等して頂くと以下の点で効果的です。

見守りたすき(みまもりたい)を付けて地域に出ることで

- ・地域の多くの目が子どもに向いているということが無言のメッセージとして部外者に伝わり犯罪を防ぎます。
- ・蛍光たすきのため、夜間つけることでたすきを付けている本人の身を守ることにもつながります。



この取組を保護者はもちろんのこと、更に地域の方々にも広げていきたいと思いま

す。また、子どもが卒業しても地域の大人として「みまもりたい」として取組のすそ野を広げていきたいと思えます。

加えて、若い世代(災害等があった時には助ける側:子育て世代で日常では夕方まで不在が多く、我が子は地域で守ってもらわないとならない側)と、日常地域にいる方々(災害時には助けられる側:子育ては終わり子ども達が活動する時間帯には見守りができる側)をつなぐ役割も期待しています。

P T A がこの「若草見守りたい」を近隣の地域の方々に依頼することを通して、新たなつながりができ、互いに助けあう関係づくりもできると考えています。しかし、子育て、仕事と多忙な中での取組は思うように進んでいないのも現状です。日々不審者による声掛けや、間違いなく起こるであろう災害への備えとして、着実に準備や対応を進めなければならないと危機感を感じています。さらに、世界にも例がない高齢化社会を迎える中で、ますます地域の繋がりが高齢者への見守りも模索されているところです。

「3, 1 1 東日本大震災」で「奇跡の釜石」と言われ、小中学生のほとんどが津波の被害から逃れたという事実は有名です。その中身は、中学生が「自分たちは助けられる側ではなく、いざと言う時は助ける側」との意識で、日頃から避難訓練の先頭に立ち、子ども達や高齢者をリードしたということでした。

若草のこの地域で、間違いなく若草中学校の生徒は、地域の子供達や高齢者にとって、いざと言う時には助ける側になる人、なってもらわないとならない頼りになる方々だと思っています。

そこで、若草中学校生徒会で、私たち若草小学校 P T A の活動の趣旨をご理解いただき、「若草みまもりたい」の「みまもりたい」というひらがな文字に、若草中学校生徒会としての意味付けをしていただき生徒会としてできる取組を是非考えていただけると幸いです。

必要であれば、本校 P T A として、「若草みまもりたい」(たすき)を必要数準備させていただきます。是非、ご検討下さい。